

伊豆半島東方沖の地震活動*

— 1989年～1998年5月 —

Seismic Activity in the east off coast of the Izu Peninsula

— 1989 - May 1998 —

気象庁火山課

Volcanological Division, JMA

1998年（平成10年）4月20日から伊豆半島東方沖で群発地震活動が始まった。第1図に4月20日から5月28日までの活動の様子を示す（用いた震源データは、可能な限り同一の観測点セットを使用し、観測点補正を行って再震源決定を行ったものである）。今回の活動は20日15時台から伊東市川奈崎北沖の深さ約10kmあたりから始まり、21日18時頃から活発化して活動域は東側に広がるとともに、深さ5kmほどの地震も発生し始めた。さらに26日11時頃から活動域は南に10kmほど伸び、やや浅い地震が増えた。その後、地震はバースト的に発生した。今回は1989年以降の活動と比較した場合、活動期間が比較的長かった（4月20日～6月2日：44日間）。地震回数（伊東市鎌田の地震計による）は、11,033回（うち有感211回）で、最大地震は5月3日のM5.7であった。また、低周波地震を4月23日1回、27日1回、30日2回、5月3日2回、4日1回観測した。

第2図に1988年（昭和63年）から今回までの群発地震初期1日間の活動域を比較した図を示す。観測網の変化の影響をなるべく少なくするため、期間を通じて震源決定に用いる観測点を限定し、かつ共通の観測点補正値を用いて震源を再決定した。最も北西よりに位置する1989年（平成元年）の活動域と最も沖合いに位置する1988年の活動域とを結ぶ線上に活動域が並んでいる。今回の活動域はその空白域を埋めるような場所に位置している。

以下、参考までに1989年以降の主な活動の概要を示す。

・1989年（平成元年）

6月30日～9月6日 地震回数 24,989回（最大地震M5.5） 有感494回

7月4日 地震活発化

9日 11:09 最大地震（M5.5）

11日 20:38 微動（1回目）

12日 09:09 微動（2回目）

13日 18:33 海底噴火

14～21日 微動たびたび発生

・1993年（平成5年）

5月26日～6月15日 群発地震 地震回数 9,567回（最大地震M4.8） 有感174回

・1995年（平成7年）

9月29日～10月28日 群発地震 地震回数 9,078回（最大地震M4.5） 有感153回

振幅の極めて小さい火山性微動と思われる波形を10月4日4回、12日1回観測（1989年以来）。

低周波地震：10月4日6回、6日1回

・1996年（平成8年）

10月15日～11月10日 群発地震 地震回数 6,005回（最大地震M4.0） 有感43回

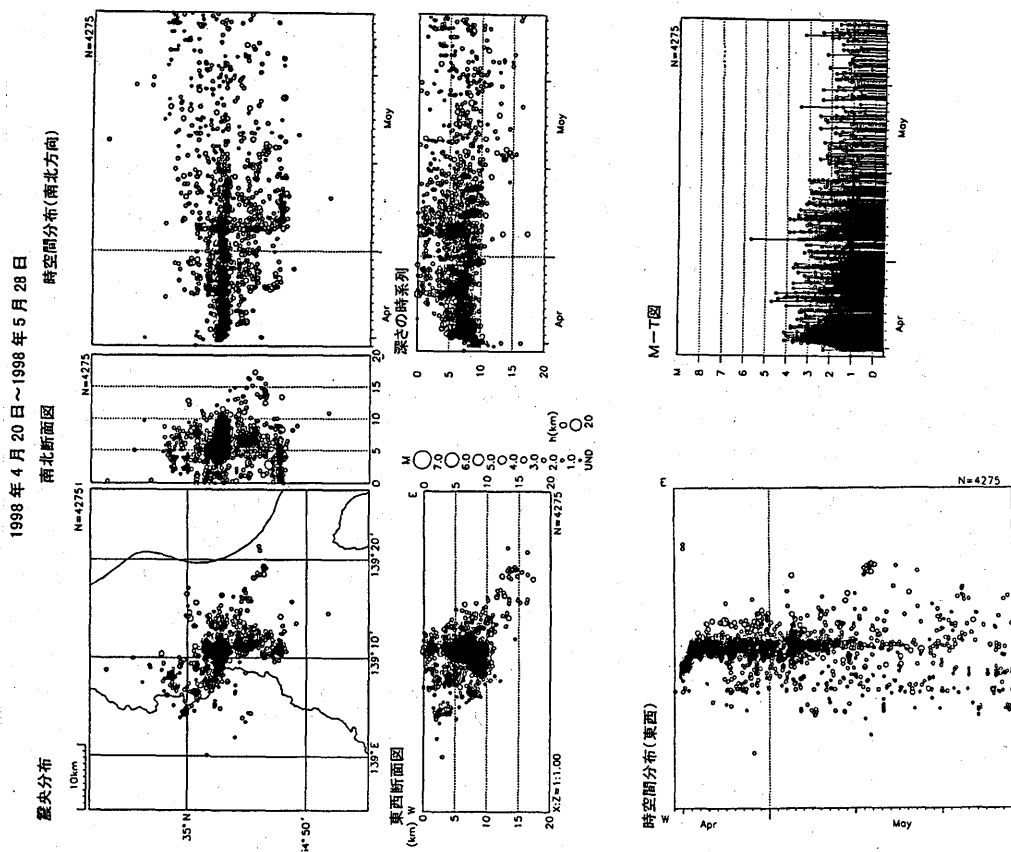
低周波地震：10月18日2回、19日2回、20日1回

・1997年（平成9年）

3月3日～26日 群発地震 地震回数 9,334回（最大地震M5.7） 有感449回

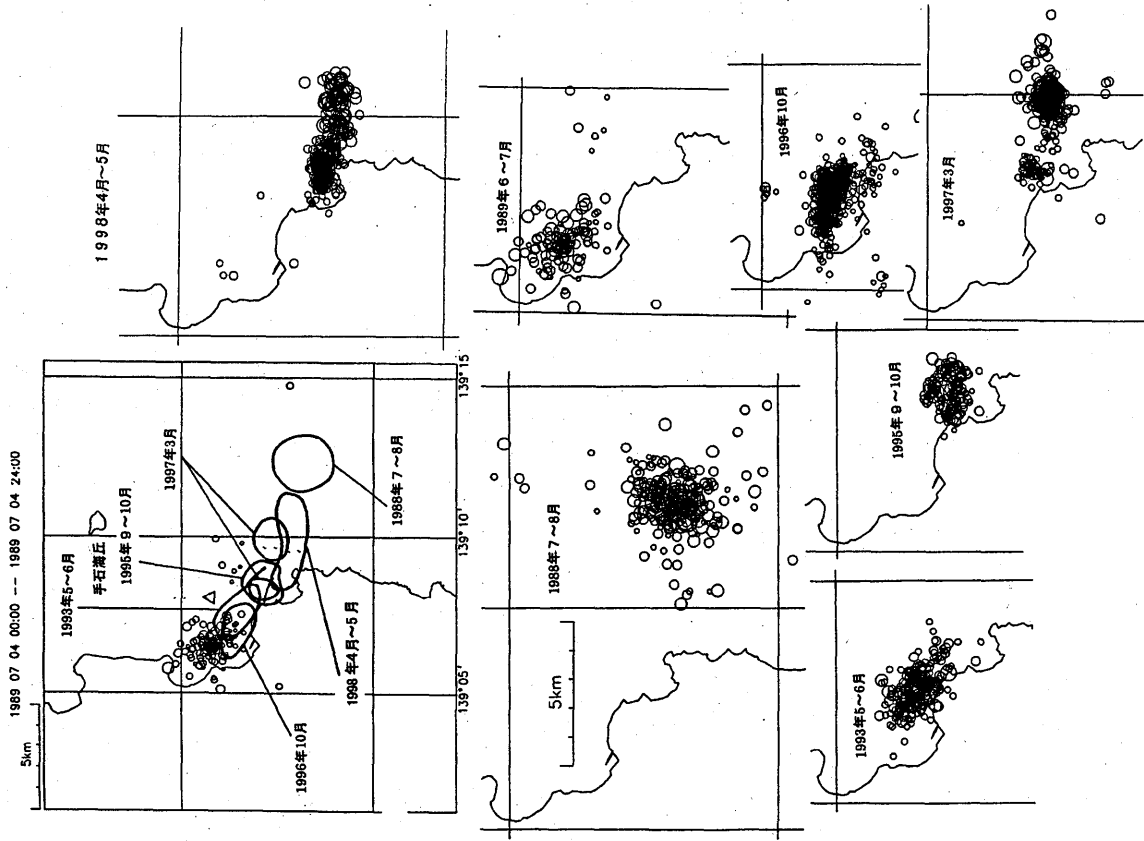
低周波地震：3月4日5回

*Received 30 Sep., 1998



[編定] (気象庁、東京大学、名古屋大学および防災科学技術研究所の予一夕を使用) 気象庁作成

第1図 伊豆半島東方の地震活動(1988年4月20日～5月28日)
Fig. 1 Seismic activity of the eastern Izu peninsula from April 20 1988 to May 28 1998.



第2図 1988年～1998年の群発地震初期(1日間)の活動域の比較
Fig. 2 The comparison of active area in initial stage (one day) of each earthquake swarm from 1988 to 1998.